

2面	学校選択制度受付開始
3面	小・中学校受入枠一覧表 教育委員会の動き 中学校2年生職場体験事業 イベントカレンダー
4面	イベントカレンダー

# まちだの教育

2007年  
9月1日  
No. 68



MACHIDA

発行:町田市 編集:学校教育課 教育総務課 ☎194-0022 町田市森野1-33-10

TEL 042-722-3111 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

## 学校支援ボランティアとして参加可能な活動(一覧)

### 教育活動支援

- ゲストティーチャー  
【国語、算数(数学)、英語(英会話)、社会、理科などの講師】  
体験活動  
【野菜づくり等の農業指導、職業や専門知識を生かした体験談、  
環境や自然保護活動、竹とんぼ等の制作活動など】  
学習活動補助  
【教科指導や学校行事の補助、介助が必要な児童・生徒への補助など】

### 教育環境支援

- 安全対策【登下校時の見回り、見守り・安全パトロールなど】  
校内外の美化・清掃  
花壇・樹木の整備、剪定  
スポーツ指導【陸上・サッカー・野球・剣道・柔道・水泳など】  
文化指導【パソコン・華道・茶道・書道・美術・吹奏楽など】  
図書活動【読み聞かせ・図書整理など】

その他、新小学一年生のための生活指導補助、休み時間や放課後に子どもたちと一緒に遊ぶボランティア活動などがあります。

# 学校支援ボランティアの 参画を推進します

## ～地域と共に「町田っ子」を育てよう～

教育委員会では、「地域に開かれた学校づくり」を推進するために、「小・中学校支援ボランティア推進事業」を実施しています。

### 「地域に開かれた学校」とは

現在、学校教育には基礎学力の定着や教育環境の充実をはじめ、規範意識の確立や安全・安心な学校づくりなど、多くの期待が寄せられています。また、教育現場では特別支援教育やキャリア教育、小学校への英語教育など、新たな取り組みによる多くの課題を抱えています。こうした多くの期待や課題にこたえていくには、学校が家庭や地域社会とのネットワークを築き、連携を進めながら地域とともに子どもたちを育てていけるような学校(地域に開かれた学校)づくりを推進することが大切です。

### 学校の現状と新たな取り組み

各小・中学校では社会人講師等をむかえた学習活動、田んぼ作りなどの農業体験、パソコン指導や読書指導等、ボランティアの方々から参画していただくことにより、地域の教育力を生かした学校づく

りを進めてきました。また、子どもたちを守るための登下校の見回りや見守りについては多くのボランティアの方々にご協力いただいております。

しかし、今後多くの地域の方々にはボランティア活動に参画していただくにあたり、学校内におけるボランティア担当窓口の明確化や、ボランティアの方々が活動する上での受け入れ体制の整備が求められていました。

### 受け入れ体制の整備

この新たな取り組みでは、各小・中学校に学校支援ボランティア担当責任者を選任し、ボランティア活動に関する窓口を一つにしました。また、ボランティア登録によ

## 「みんなの協力で進める 小・中学校の特別支援教育」 を作成・配布

～特別支援教育の理解を深めるために～

特別支援教育は、従来の特殊教育(本市では「障がい教育」と称する。)の対象に加え、LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥・多動性障害)、高機能自閉症等の児童・生徒を含めて、障がいのある児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その上で児童・生徒の持っている力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服できるように、適切な教育を通じて必要な支援を行うことで進められるものです。特別支援教育を進めていくには、学校の組織的な指導体制はもとより、保護者の方々のご理解と協力が不可欠です。

このことから、教育委員会では、今年5月に特別支援教育の理念と基本的な考え方を広く理解・共有していただけるよう、特別支援教育のパンフレットを作成し、小・中学校と幼稚園の教職員、保護者に向けて45000部配布しました。

今後、教育委員会では、通常の学級におけるLD等を含めた障がいのある児童・生徒への指導や支援のあり方について、専門家や巡回指導員を派遣して学校を支援する取り組みを一層進めてまいります。一方で、国の動向を見据えつつ、既存の固定学級(知的、情緒、肢体)及び通級指導学級(情緒、弱視、難聴、言語)の充実も図ってまいります。

現在、各小・中学校では、校内



学校支援ボランティアの指導により田植えの体験学習をする児童

し、ボランティア参画に有効と考えられる取り組みを行ってまいります。

### 市民の皆様へ

今後モ教育委員会では、関係機関への協力依頼や地域への情報発信など学校支援ボランティア参画拡充に向けて積極的に取り組んでまいります。町田の未来を担う子どもたちを地域の皆様とともに育て、地域に根ざした町田の教育が実現されるよう、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

**\*学校支援ボランティア活動に参加するには\***  
各小・中学校にはボランティア担当の責任者がいますので、ボランティア活動をしたい学校に直接お問い合わせ下さい。なお、学校ごとにご参加いただけるボランティア活動は異なります。市民の皆様のご参加をお待ちしております。

## 大学連携事業

# 「授業力・教育課題研修会」

教育委員会では、年間を通じ、教職員向けの多様な研修を実施していますが、特に夏休み期間中には、授業力向上と昨今の教育課題に対応するための集中的な講座等を行っています。

今年度は、7月30日(8月1日)(会場:玉川大学)、8月20日(8月22日)(会場:桜美林大学)の日程で講義や事例発表等、全47講座の研修を開催しました。

これは、昨年度両大学と町田市との間で締結した連携協定に基づき行ったもので、今後様々な連携の可能性を模索し、相互に協力・交流することで教育の充実を図ることなどを目的としたものです。

研修の主な柱は二つあり、一つは「授業力向上」です。国語や算数(数学)、道徳などの教育内容と、教材開発や視聴覚機器の活用などの教育方法についての研修講座を開設しました。そしてもう

一つが「教育課題への対応」です。いじめや不登校への対応に関すること、本年度から本格的に実施された特別支援教育に関すること、また町田市独自に取り組む小中一貫教育に関することについて、講義や事例発表が行われました。

この研修には、小・中学校教職員の87%にあたる約1300人が受講し、講座によっては幼稚園・保育園の職員や両大学の学生にもそれぞれ呼びかけ、多くの参加がありました。

研修を通じて課題を共有し、交流を深めるなど、地域における教育の連携のためにも有意義な研修となりました。

教育委員会では、今後も計画的に研修会を開催し、教職員の指導力や教育課題への対応力の向上に努めてまいります。

委員会の設置やコーディネーターを指名して組織的な指導体制の確立に取り組んでいます。また、指導補助をしてくださるボランティアの募集などもそれぞれの状況に応じて行っております。

今回配布したパンフレットは、町田市のホームページでも閲覧できます。

<http://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/kyoiku/school/school06/files/apdf>



特別支援教育のパンフレット